

## ニュース&トピックス

> Back Number

2016.04.21

【報道】2016年4月18日(月)に、ナノ医療イノベーションセンター(iCONM) 副ラボ長 主幹研究員、東京大学 客員研究員 喜納 宏昭が発表した論文(米国化学会発行ナノテクノロジー専門誌 ACS Nano: [Nanomedicines Eradicating Cancer Stem-like Cells In vivo by pH-Triggered Intracellular Cooperative Action of Loaded Drugs](#))について、片岡 一則(ナノ医療イノベーションセンター(iCONM) センター長、東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授)、Horacio CABRAL(東京大学 大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻 准教授、ナノ医療イノベーションセンター 客員研究員)が、東京大学・ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)・COINSによる[共同記者会見を行いました。](#)がん幹細胞を狙い撃ちするナノテック抗がん剤の開発に成功しました。

本件に関する報道は以下をご参考ください。

<TV>

- ▶ 4/18(月) 21:30 「NEWS930a」 デジタル3chテレビ神奈川(tvk)

<Web>

- ▶ 4/18(月)
  - 日経プレスリリース  
[東大、がん幹細胞を狙い撃ちするナノテック抗がん剤を発見](#)  
[がん幹細胞を狙い撃ちするナノテック抗がん剤の開発に成功](#)  
[～アスベスト被曝が原因となる難治がん\(悪性中皮腫\)に対する奏功を確認～](#)
  - TVKニュース デジタル3chテレビ神奈川  
[東大、がん幹細胞を狙い撃ちするナノテック抗がん剤を発見](#)



COINS Research Tracker  
ELSEVIER Pure

iCONM センター長インタビュー



